

# 陽子線セラピーニュース



## 目次

センター長あいさつ … P.1

陽子線治療料について … P.2~3

開設から現在までの状況(患者動向) … P.4

平成30年4月から、前立腺がんや頭頸部腫瘍など健康保険が適用される疾病が増えました!

👉 詳しくは次ページで

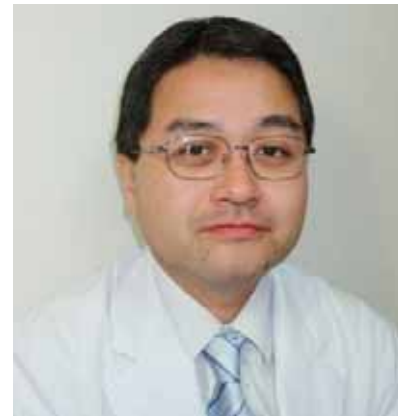
## 陽子線治療の新たな局面

日本国内において陽子線治療は長らく先進医療として行われてきましたが、平成28年度の診療報酬改定により小児腫瘍に対する健康保険の適用がなされ、当センターにおいても東海3県を中心に多くの小児腫瘍の患者さんに陽子線治療を提供できるようになりました。このたびの平成30年度の診療報酬改定では、健康保険の適応がさらに広がり、①前立腺癌(転移のない限局性・局所進行性)、②頭頸部腫瘍(口腔・咽喉頭の扁平上皮がんを除く)、③骨軟部腫瘍(切除非適応のもの)が加わることとなりました。

頭頸部腫瘍(口腔・咽喉頭の扁平上皮がんを除く)につきましては陽子線治療を含む粒子線治療の有用性が以前から指摘されておりましたが、2014年のLancet Oncology誌に掲載されたシステマティックレビューにおいてX線治療と比較し優位性が示されたことなどが根拠となり、平成30年1月の先進医療会議において保険適用が妥当との判断となりました。

骨軟部腫瘍におきましても陽子線治療が既存のX線治療よりも優位性があることなどを根拠に、平成28年度改定で保険収載された重粒子線治療とならんで、陽子線治療もこの4月から健康保険が適用されることとなりました。

今回の改定ではいわゆるコモンキャンサーのひとつである前立腺癌(転移のない限局性・局所進行性)が保険



名古屋陽子線治療センター  
センター長 荻野 浩幸

適用されたことは大きな特色と考えております。これまで様々な議論がなされてまいりましたが、世界的にも保険適応が拡大している陽子線治療において、日本国内でもコモンキャンサーが保険に加わったことで、今後のさらなる疾患に対する保険適応の拡大が期待できる状況となりつつあるように思います。もちろんこれまで以上にしっかりとしたデータによるエビデンスを構築することが重要であることは言うまでもありませんので、今後も多施設共同臨床試験である先進医療Bの推進などに取り組んでまいりたいと思います。

保険適応疾患の拡大でさらに利用しやすくなった陽子線治療を治療選択肢のひとつに加えていただき、ご活用いただければ幸いです。

# 陽子線治療料について～保険診療の場合、陽子線治療料はど

## 現在健康保険が適用されない疾病

先進医療による治療を引き続き実施している疾病

- 肝臓がん
- 肺がん
- すい臓がん
- 食道がん
- 直腸がん（術後再発のもの） 等

## 現在健康保険が適用される疾病

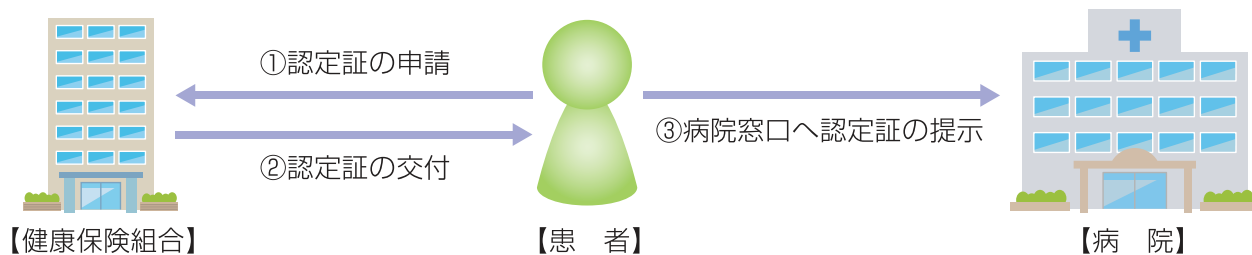
- 前立腺がん（転移のない限局性・局所進行性のもの）
- 頭頸部腫瘍（口腔・咽喉頭の扁平上皮がんを除く）
- 骨軟部腫瘍（切除非適応のもの）
- 小児腫瘍（限局性の固形悪性腫瘍のもの）

### ■ 保険診療の場合、今までよりも患者さんの自己負担額は軽くなります。

- 陽子線治療料の自己負担額は、国が定めた医療費に対し自己負担割合（1～3割）に応じた金額になります。
- 陽子線治療料は、陽子線治療の開始日に自己負担額全額をお支払いいただきます。
- 陽子線治療料以外に診察、検査、投薬、入院などの診療費がかかることは、今までと変わりません。

### ■ 「高額療養費制度」により、病院窓口での自己負担額の支払いを軽減することができます。

- ① 70歳未満の方：加入する健康保険組合などで手続きを行って、「限度額適用認定証」の交付を受け、病院窓口への提示が必要となります。



- ② 70歳以上の方：手続きをしなくても、窓口での支払いが自己負担限度額までになります。

ただし、適用区分が住民税非課税世帯の方は、① 70歳未満の方と同様「限度額適用認定証」の提示が必要となります。

うなるの？～

### 保険診療でない場合の陽子線治療料の自己負担額

➡ 288万3,000円

288万3,000円



※民間医療保険の先進医療特約により負担が軽くなることもあります。

### 保険診療の場合の陽子線治療料の自己負担額

- ➡ ●前立腺がん……………160万円の1～3割
- 頭頸部腫瘍、骨軟部腫瘍、小児腫瘍…237万5,000円の1～3割

1～3割

健康保険からの負担



- 「高額療養費制度」など、さらに自己負担額を軽減する制度を利用した場合（加入する健康保険組合などにお問い合わせください）

自己負担限度額

健康保険からの負担



さらなる自己負担軽減分

### ♪ 各種メディアに取り上げられています ♪

平成30年2月名古屋市会本会議において、当センターの治療成績等に関する質問があり、病院局長が前立腺がんや肝臓がんに関する治療成績等について答弁しました。

このやり取りにつき、平成30年3月8日の中日新聞及び毎日新聞で報道されました。内容をお知りになりたい方は、右のQRコードからご覧ください。



▲QRコード

平成30年3月25日に、市政広報番組「ナゴヤでしょ!」で当センターの紹介をしました。内容は、下記番組ホームページからご覧ください。

<https://www.youtube.com/watch?v=sB2c8ezfSeI>

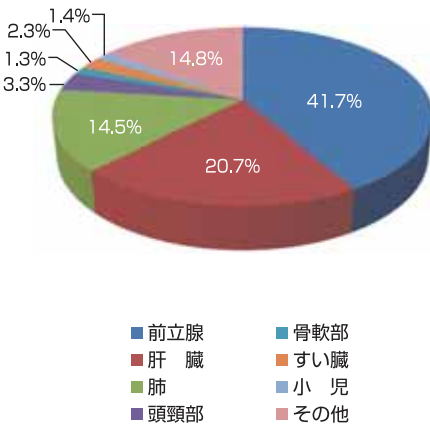


# 開設から現在までの状況（患者動向）

平成30年3月31日時点

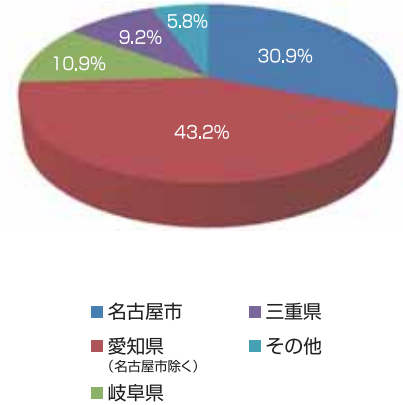
## ■ 部位別治療患者数

部位	人数
前立腺	873
肝 臓	433
肺	304
頭頸部	70
骨軟部	28
すい臓	47
小 児	30
その他	310
合 計	2,095



## ■ 居住地別治療患者数

居住地	人数
名古屋市	647
愛知県 (名古屋市除く)	905
岐阜県	229
三重県	193
その他	121
合 計	2,095



治療開始約5年で、2,000人を超える治療を行いました

## ご寄附のお願い

当センターでは、センターの運営に対し、個人や法人の皆様方から広く寄附を受け入れ、その成果を通じて東海三県初の陽子線がん治療施設としての役割を果たして参りたいと考えております。ご寄附をいただける方につきましては、名古屋市立西部医療センター管理部管理課経理係へご連絡をお願いいたします。（当センターは名古屋市立西部医療センターの一部門です。）

お問い合わせ先

名古屋市立西部医療センター 管理部管理課経理係

〒462-8508 名古屋市北区平手町1丁目1番地の1

TEL : 052-991-8121 (代表) FAX : 052-916-2038



ホームページではセンターの紹介や陽子線治療に関する説明などを載せています。受診の流れなどを示したパンフレットなど送るようホームページから請求することもできます。ぜひ、ご覧ください。

名古屋陽子線治療センター

検索



## 陽子線セラピーニュース

●発行・編集／名古屋市立西部医療センター  
名古屋陽子線治療センター  
運営企画室

〒462-8508 名古屋市北区平手町1丁目1番地の1  
電話 052-991-8588 FAX 052-991-8599  
<http://www.nptc.city.nagoya.jp/>